## 辺野古土砂北九州・ミニニュース

辺野古埋め立て土砂搬出反対北九州連絡協議会≪2019 年 4 月 22 日・No76≫ 連絡先…森下 090-9495-3902 南川 090-2853-7116 八記 080-1730-8895 kanpanerura8k@mail.goo.ne.jp



辺野古土砂北九州の日程を中心にお知らせします

## □北上田毅さんの講演、ぜひお聞きください

デしいことは 同封のチラシを ご覧ください



- ○5 月 19 日(日)14 時~ ○ウエルとばた中ホール
- ○参加費 800 円(受付でお支払いください)
- ○「平和といのちをみつめる会」代表の 渡辺ひろ子さんの築城基地の報告も あります

### □地域チラシ配布

5月15日(水)

10 時 JR 小森江駅集合 ※所要時間は 1 時間半を予定

## □街頭宣伝

5月25日(土)

16 時~17 時・小倉駅前 ※4月は27日(土)16時~17時です。



#### 新基地、今度は海砂が

辺野古の現場では、大浦湾の軟弱地盤改良のために、7万7千本の砂杭を打ち込むことになり、そのための大量の砂が必要になりました。

瀬戸内海に面している県では「瀬戸内法」によって、海砂の採取が禁止されています。福岡県はどうなのか…。辺野古土砂北九州では、さっそく「海砂事情」を聴きに、県に行ってきました。報告は裏面に記載。

土砂全協の名出さんのメールをご紹介します。

#### 機銃掃射を 受けているような錯覚に

香川県高松市 名出真一

高知県大豊町豊永の橋の上を走行中、爆音に思わず急ブレーキを踏んでしまいました!戦闘機の低空飛行!この辺りは米軍のオレンジルートという、低空飛行の訓練ルート。初めて実際に遭遇しましたが凄まじいです!

何度も写真を撮ろうとしましたが流石に 撮れませんでした。

驚きと、冗談でなく自分が機銃掃射を受けているような錯覚におちいり、恐怖感でいっぱいになりました!

何度も谷間を通ります!人が住んでおり 車が普通に走行している真上を、我が物顔 で飛び回る戦闘機を見た時に、これが日常 になっている沖縄の方々の恐怖を少しかも しれませんが実感しました。

# 福岡県は、数字の上では まだ年間 100~150 万㎡の海砂採取が可能

当日お聞きした内容を、箇条書きでお知らせします。

- ○福岡県は3つの海に分かれている。周防灘・響灘・玄界灘。
- ○周防灘は「瀬戸内法」で海砂の採取はできない。
- ○響灘と玄界灘は、北九州から佐賀県までの間を3つの区域に分けられており、海砂が採取できる場所は以下の通り。
  - A海域(北九州側)…離岸距離 5 km以遠・水深 45m以深
  - B海域(真ん中)…離岸距離 5km以遠・水深\_40m以深
  - C海域(糸島から佐賀方向)…離岸距離 5km以遠・水深\_35m以深
  - いずれも排他的経済水域まで採取可能で、採取可能な時間は、日の出から日の入りまで。職員談「遠くまで行ったら採算合わないし、長時間労働もできないんじゃないですかね」
- ○年間の限度採取量は400万㎡で、現在の年間採取量は250~300万㎡
- ○掘削に当たっては、部分的に深堀をしてはならない。
- 詐取は認可制で認可期間は半年。申請は採取組合が行っている。組合は4つあり、業者はいずれかの組合に所属しているとのこと。
- ○個々の、採取場所・個所数・面積・採取量は、「申請内容にかかわることなので、お答えできません。開示請求して調べてもらえれば…」とのこと。
- ○他県への持ち出しも他県からの持ち込みも禁止されていない。
- ○採取単価は1 m<sup>3</sup> 64 円。
- ○貧酸素水塊・生態系・環境への影響は今のところ出ていない。 ※モニタリング調査を平成20年から行っているとのこと。
- ○海砂採取にかかわる組織…福岡県海砂採取対策協議会(役所の組織)・福岡県海砂採取専門 委員会(外部機関)
- ○海砂採取にかかわる条例等…福岡県一般海域管理条例・福岡県一般海域管理運用要綱・福岡県砂利採取法関係手数料条例
- ○採取量のチェックは…事務所に立ち入り検査し、実績報告書を出させている。<u>国に報告する航海日誌もあり</u>、ごまかしにくいと思う。※下線はメモの字が読めなくて、たぶんこう書いてあるのだと思います。
- ○採取と販売の書類を相互に調べることで整合性を確認している。
- ○採取船にはすべて GPS・同記録装置・採取ポンプの稼働記録がついていて、どのような採取 をしているのか確認できる。
- ○どこも、固定の取引先があるようで、よそにもっていく余裕はないのでは。採取場所も縄 張りがあるようだ。

というお話を聞いてきました。

大浦湾の地盤改良に必要な海砂は 650 万㎡。北九州市庁舎 58 杯分になります。この大量の砂をどこで調達するのでしょうか。また、海砂の代わりに、鉄鋼スラグを使うことも考えられます。さらに言えば、築城基地の滑走路を 300m海に延長するためには、まず海を埋め立てなければなりません。そのための土砂をどこから持ってくるのでしょうか…。

